

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2024

10月中旬～11月中旬

--- 季節のおすすめ散策コース (ゆっくり歩いて1時間)
- - - おてがるコース (ゆっくり歩いて30分)

いきもの




アサギマダラ(タテハチョウ科)
秋に南へ向かって旅をするチョウ。旅の途中、フジバカマやヒヨドリバハによく吸蜜にきます。



リシアカネ(トンボ科)
赤トンボの一種。林のそばの少し暗い池沼を好む。



ノスリ(タカ科)
小型のタカの仲間。秋から冬にかけての渡りの時期によく姿を見かけます。



藍那口 小部明石線(県道52号)

藍那 歩行者口

木正棟 里山 交流館

伝庫の家 里山 情報館

農村舞台 長屋門

盆処の丘(展望台) 野草園

白拍子の家

うめ林

かしの小道

もみじ谷

かんきつ山

めだか池

木見川

切通し

小野道

ハス田

小野水田

木見川散策路

相談ヶ辻の家

相談ヶ辻 歩行者口

くり林 橋坂

代ヶ谷棚田

もも林

サンデン休憩所

はんのき池

里山美林地区

つつじの小道

さくら山

森のゾーンA駐車場



タコノアシ(タコノアシ科)
タコの足を引っくり返したような形からこの名前がつけました。秋の紅葉シーズンには赤く色づき、まるでゆでタコのような。



リンドウ(リンドウ科)
根は生薬として利用されてきましたが、胆汁のようにものすごく苦いことから「竜の胆汁」で「竜胆(りんとう)」という名前になったそうです。



ススキ(イネ科)
秋の草地を代表する植物。秋の七草の尾花です。藍那では、茅葺屋根の材料として利用されてきました。



サワヒヨドリ(キク科)
秋の七草の一つの「フジバカマ」によく似ています。淡い桃色が美しい花です。



ツリガネニンジン(キキョウ科)
小さな釣り鐘型の花をつける。根の形が朝鮮人参に似ていることから、ニンジンという名がつけられたらしい。



コバノガズミ(実)(ガマズミ科)
春に小さな白い花が咲きます。よく似たミヤマカマスミよりも葉っぱが細く、さわるとふわふわした手触りです。



ヤマハッカ(シソ科)
山に咲くハッカの仲間ですが、ハッカの香りはせず、メントールも採れません。



カキノキ(実)(カキノキ科)
果実は食用や柿渋の材料に、葉はお茶になる、有用な植物です。里山には多く植えられています。



ゲンショウコ(フウロソウ科)
昔から、整腸薬として重宝されてきた野草。



ナワシログミ(グミ科)
稲の苗代が育つころ、つまり田植えのころに実が熟すことからついた名前です。花は秋にひっそりと咲きます。



リュウノウギク(キク科)
日当たりのいい丘陵地や山地に生育する白いキク。葉を揉むと樟脳のような香りがします。



ミソソバ(タデ科)
日当たりの良いみぞによく生えます。葉の形が特徴的なことから「ウシノヒタイ」という別名も。



カマツカ(実)(バラ科)
カマの柄にできるほど材が強いことからこの名がつけられたそう。別名ウシコロシとも。



イヌタデ(タデ科)
役に立たないことからこの名がつけられたそう。ピンク色の花穂がかわいらしいですね。